

【本資料は、2023年2月16日付で発表された Standard Chartered PLC 4Q'22 and FY'22 Results(一部抜粋)の日本語参考訳です。】

スタンダードチャータードPLCー2022年度第4四半期および2022年度の業績

別段の注記がない限り、すべての数字は特別要因調整後ベースで表示されており、比較の対象は 2021 年度で報告通貨ベースとしています。特別要因調整後の業績に含まれていない「再編関連コスト」および「その他の項目」の内容は、原文「Standard Chartered PLC 4Q'22 and FY'22 Results」の 41-45 ページに記載しています。

ビル・ウィンターズ グループ最高経営責任者

「当行グループは 2022 年度の第 4 半期と通年ベースで好調な業績を達成し、収益と税引前利益はともに 15%増加、有形資本利益率(RoTE)は 8.0%と、2021 年度から 120bp 上昇しました。グループはまた新たに 10 億ドルの株式買戻しと 1 株当たり 14 セントの最終配当を発表し、これにより 2022 年年初以来発表された株主への総分配額は 28 億ドルと、我々が 2024 年度までの 3 年間で目指している合計額 50 億ドルの半分をすでに超えました。昨年策定した 5 つの戦略的アクションは飛躍的な進展を続けており、我々は財務目標の達成に依然自信を持っています。我々は予想を上方修正し、ROTE は 2023 年に 10%に近づけ、2024 年に 11%を超え、その後も上昇を続けることを目指しています。」

戦略的アクションの進捗状況(別段の注記がない限り 22 年)

- 法人営業・コマーシャルバンキング部門(CCIB):リターンを向上させる:収益のリスク加重資産利益率は前年比 160bps上昇し、6.5%となりました。リスク加重資産(RWA)最適化の取組みによって2022年度中のRWAの減少額は140億ドルに達しました。
- コンシューマー・プライベート/ビジネスバンキング部門(CPBB):収益性を転換する:2022年度中に費用収益比率は5ポイント改善して69%に、総費用削減額は2億ドルに達しました。
- 中国における機会の獲得:中国オンショア事業は前年比10%の増収、オフショア事業は同21%の増収となりました。
- オペレーションのレバレッジを生み出すコスト規律:当行グループは2022年度中に構造的費用の総額を4億ドル削減し、2024年度までに13億ドルを削減できる軌道に乗っています。費用収益比率は2022年度中に4ポイント改善して66%となりました。
- 株主への潤沢な配当:2022年年初以来、総額28億ドルの株主への分配を発表しました。

その他のハイライト

- ベンチャー:2022年9月にシンガポールにデジタルバンク「Trust Bank」を設立し、これまでに開設された口座数は45万を超えました。
- サステナビリティ:サステナブル・ファイナンスでは前年比41%増収の5億ドルの収益を実現し、過去21か月の間に480億ドルの資金を動員しました。

2022 年度の業績の概要

- 有形資本利益率(RoTE)**は前年度から120bps上昇して8.0%に達しました。
- 収益**は10%増収の163億ドル、債務評価調整(DVA)と為替変動の影響を除いたベースでは15%の増収を実現しました。
 - 純金利収入は、為替変動の影響を除いたベースで、全体の増収率の約半分を占める18%の増収となりました。
 - ファイナンシャルマーケットは、債務評価調整(DVA)と為替変動の影響を除いたベースで21%の増収を達成しました。
 - ウェルスマネジメントの収益は、リスク回避的な投資家心理と新型コロナウイルス対策による行動制限が響き、為替変動の影響を除いたベースで17%の減収となりました。
 - 純資金利ざや(NIM)は、金利上昇によるプラスの効果がヘッジと商品構成の変更の影響により一部相殺され、前年より20bps拡大して1.41%となりました。
- 費用**は106億ドルへ前年比4%増加、為替変動の影響を除いたベースでは9%の増加となりました。
 - 業績連動型報酬発生額の増加分を除いた費用は、インフレと投資支出の増加を主な要因として、7%の増加となりました。
 - 債務評価調整(DVA)と英国銀行税、為替変動の影響を除いたベースでは、収益の伸び率が費用の増加

率を6%上回りました。

- **信用減損**は8億3,800万ドルと、前年比5億7,500万ドル増加しました。
 - － 中国商業用不動産セクターに対するエクスポージャーに関しては、5億8,200万ドルの減損を計上しました。
 - － パキスタン、ガーナ、スリランカに関係するソブリンのダウングレードにより、2億8,300万ドルの減損を計上しました。
 - － マネジメント判断による調整(オーバーレイ)額は現在2億1,000万ドルとなっています。新型コロナウイルスに関連するオーバーレイは2,100万ドルへ2億2,800万ドル減少し、中国の商業用不動産関係のオーバーレイは1億7,300万ドルとなり、7,800万ドル増加しました。
 - － ハイリスク資産は、21年12月31日から8億ドル減少して99億ドルとなりました。
 - － 信用損失率は21bpsとなっています(2021年度は7bps)。
- **特別要因調整後の税引前利益**は、為替変動の影響を除いたベースで15%増益の48億ドルとなりました。
- **再編関連コストおよびその他の項目**には、China Bohai Bank(中国渤海銀行)に関係する3億800万ドルの減損費用を含みます。また2021年度についても遡及的に、同行に関係する減損費用3億ドルを「再編関連コストおよびその他の項目」に区分変更しました。
- **税金**は14億ドル、特別要因調整後の実効税率は2.9ポイント上昇して29.6%となりました。
- 当行グループの**バランスシート**は依然として健全で流動性が高く、十分に分散されています。
 - － 顧客向け貸付金その他の金銭債権は2021年12月31日から120億ドル(4%)増加、特別要因調整後ベースでは3%の増加となりました。
 - － 預貸率は57.4%(2021年12月31日時点では59.1%)、流動性カバレッジ・レシオは147%(同143%)でした。
- **リスク加重資産(RWA)**は2,450億ドルと、2021年12月31日から270億ドル(10%)減少しました。
 - － 信用リスク加重資産は230億ドル減少しました。リスク加重資産の最適化と効率化の取組みにより250億ドル、為替の影響により100億ドル減少しましたが、減少分は規制変更による増加分70億ドルなどによって一部相殺されました。
 - － 市場リスク加重資産は40億ドル減少、オペレーショナルリスク加重資産の金額には変化なく、おおむね横ばいにより推移しています。
- グループは依然として盤石な自己資本を有しています。
 - － **普通株式等Tier 1比率(CET1比率)**は14.0%と、目標レンジである13-14%の上限の水準にあります(2021年12月31日時点では14.1%)。
 - － 1株当たり 14 セントの最終配当案に基づくと総支払額は 4 億 500 万ドル相当となり、通年では1株当たり18セント、総額5億2,300 万ドルの配当(前年比50%増)が支払われることとなります。
 - － 近く開始される10億ドルの株式買戻しプログラムにより、CET1比率はおおよそ40bps低下する見通しです。
- **特別要因調整後の1株当たり利益**は15.3セント(18%)増加して101.1セントとなりました。

2022 年度第4四半期の業績の概要

- **収益**は12%増の37億ドル、債務評価調整(DVA)と為替変動の影響を除いたベースでは26%の増収を実現しました。
 - － 純金利収入は、為替変動の影響を除いたベースで28%の増収となりました。
 - － ファイナンシャルマーケットは、債務評価調整(DVA)と為替変動の影響を除いたベースで33%の増収を達成しました。
 - － ウェルスマネジメントの収益は、為替変動の影響を除いたベースで19%の減収となりました。
 - － 純資金利ざや(NIM)は、金利上昇およびトレーディング勘定の資金調達コストを考慮した調整によるプラスの効果がヘッジと商品構成の変更の影響により一部相殺されましたが、預金のパススルーによる影響もあり、前四半期より15bps拡大して1.58%となりました。
- **費用**は27億ドルへ、前年同期比4%増加、為替変動の影響を除いたベースでは14%の増加となりました。
 - － 業績連動型報酬発生額の増加分と為替変動の影響を除いた費用は、インフレと投資支出の増加を主な要因として、8%の増加となりました。
 - － 債務評価調整(DVA)と英国銀行税、為替変動の影響を除いたベースでは、収益の伸び率が費用の増加率を12%上回りました。

- **信用減損**は3億4,400万ドルと、前四半期比1億4,100万ドル増加しました。
 - 中国商業用不動産セクターに対するエクスポージャーに関しては1億6,300万ドル、ソブリンのダウングレードにより1億900万ドルの減損を計上しました。
- **特別要因調整後の税引前利益**は、為替変動の影響を除いたベースで17%増益の5億ドルとなりました。

見通し

当行グループの業績は好調に推移しており、グループがビジネスを展開する市場の多くでは、順調なペースで経済が回復しています。

特に 2023 年の上半期にはまだ世界の多くの国は景気後退とインフレ圧力の影響が続くと考えますが、当行グループがビジネスを行っている多くの国では力強いモメンタムが続き、アジア諸国の GDP 成長率は今後 2 年間に 5%を超え、世界的な景気回復の進展を促す要の役割を担うと予想しています。

我々は金融引締めに対するエクスポージャーが大きい市場のソブリンリスクを引き続き注視していきますが、最近の中国の経済再開と全体的な新型コロナウイルスの影響が減少していくことは好材料となるでしょう。

全体的に見て、当行グループがビジネスを展開している市場の状況、金利上昇によるプラス効果、および当行の経営指標の多くが明らかな改善を示していることから、我々は今後の業績に対して楽観的な見通しを持っており、2023 年度および 2024 年度については、以下のように予想しています。

- 収益は、債務評価調整(DVA)と為替変動の影響を除いたベースで8-10%の増収を実現する見通しです。
- 通年の平均純資金利ざや(NIM)は、2023年度は約175bps、2024年度は180bpsを超えるでしょう。
- 資産およびリスク加重資産(RWA)の増加率(%)は一桁台の前半になると考えます。
- 2023年度と2024年度には、債務評価調整(DVA)と英国銀行税、為替変動の影響を除いたベースで、収益の伸び率が費用の増加率を約3%上回りました。
- 信用減損については、信用損失率は30-35bpsの範囲で変動しながら、過去の水準に向けて正常化していくとみています。
- 当行グループはCET1比率を13-14%の目標レンジ内に維持しながら、ダイナミックにビジネスを展開していきます。
- 有形資本利益率(RoTE) は2023年度に10%に近く見通しです。
- 有形資本利益率(RoTE) は2024年度には11%を超え、今後も引き続き上昇する見込みです。

他の通貨を指すと明記されている場合を除き、本資料内の「ドル」という語または「\$」の記号は米国ドルを指し、「セント」という語または「c」の記号は 1 ドルの 1/100 を意味します。

本資料に記載する情報は監査を受けていません。

文脈上別段の解釈が必要な場合を除き、本資料において「中国」は中華人民共和国を指し、本資料においてのみ、香港特別行政区(香港)、マカオ特別行政区(マカオ)および台湾は含まれません。「韓国」は大韓民国を指し、「アジア」にはオーストラリア、バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、中国、香港、インド、インドネシア、日本、韓国、ラオス、マカオ、マレーシア、ミャンマー、ネパール、フィリピン、シンガポール、スリランカ、台湾、タイ、ベトナムが含まれ、「アフリカ中東(AME)」には、アンゴラ、バーレーン、ボツワナ、カメルーン、コートジボワール、エジプト、ガンビア、ガーナ、イラク、ヨルダン、ケニア、レバノン、モリシャス、ナイジェリア、オマーン、パキスタン、カタール、サウジアラビア、シエラレオネ、南アフリカ、タンザニア、アラブ首長国連邦(UAE)、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエが含まれます。また「ヨーロッパ」には、アルゼンチン、ブラジル、コロンビア、フォークランド諸島、フランス、ドイツ、アイルランド、ジャージー、ポーランド、スウェーデン、トルコ、英国、米国が含まれます。

スタンダードチャータード PLC はイングランドおよびウェールズにおいて設立された有限責任会社であり、ロンドンに本社を置きます。当行グループの本社では、ガバナンスおよび規制基準に関する助言を提供しています。スタンダードチャータード PLC の株式の銘柄コードは LSE STAN.LN および HKSE 02888 です。

【参考記に関するご留意事項】

この資料は、スタンダードチャータード銀行東京支店(以下、「当行」と言います。)が、お客様の便宜のために、英語その他の言語の情報を日本語に翻訳し、提供させていただいております。従いまして、当行は、この資料に記載された情報につきまして、独自の検証を行っておりません。専門用語のみならず、翻訳の正確性も保証しておりません。英文資料が正文であり、英文資料と翻訳との間で齟齬がある場合には、英文資料が全てにおいて優先します。

Statement of results

損益計算書

	2022年 (百万ドル)	2021年 (百万ドル)	増減 ¹ %
特別要因調整後ベースの業績			
営業収益	16,255	14,713	10
営業費用	(10,743)	(10,375)	(4)
信用減損	(838)	(263)	nm ⁶
その他減損費用	(79)	(55)	(44)
関連会社利益	167	176	(5)
税引前利益	4,762	4,196	13
普通株主に帰すべき利益 ²	2,999	2,667	12
普通株主有形資本利益率 (RoTE) (%)	8.0	6.8	120bps
費用収益比率 (%)	65.5	69.8	430bps
法定ベースの業績			
営業収益	16,318	14,701	11
営業費用	(10,913)	(10,924)	-
信用減損	(836)	(254)	nm ⁶
営業権その他の減損費用	(439)	(372)	(18)
関連会社利益	156	196	(20)
税引前利益	4,286	3,347	28
税金	(1,384)	(1,034)	(34)
当期利益	2,902	2,313	25
親会社株主に帰すべき利益	2,948	2,315	27
普通株主に帰すべき利益 ²	2,547	1,905	34
普通株主有形資本利益率 (%)	6.8	4.8	200bps
費用収益比率 (%)	66.9	74.3	740bps
純資金利ざや (%) (調整後)	1.41	1.21	20bps
バランスシートと資本			
総資産	819,922	827,818	(1)
総資本	50,016	52,636	(5)
普通株主に帰すべき平均有形株主資本 ²	37,186	39,671	(6)
顧客向け貸付金その他の金銭債権	310,647	298,468	4
顧客口座	461,677	474,570	(3)
リスク加重資産	244,711	271,233	(10)
総自己資本	53,151	57,644	(8)
総自己資本比率 (%)	21.7	21.3	40bps
普通株式等 Tier 1	34,157	38,362	(11)
普通株式等 Tier 1 比率 (%)	14.0	14.1	(19)bps
預貸率 (%) ³	57.4	59.1	(170)bps
流動性カバレッジ率 (%)	147.0	143.0	400bps
レバレッジ率 (%)	4.8	4.9	(10)bps
普通株式1株当たりの情報			
1株当たり利益 - 特別要因調整後ベース ⁴	101.1	85.8	15.3
— 法定ベース ⁴	85.9	61.3	24.6
1株当たり純資産額 ⁵	1,453	1,456	(3)
1株当たり純有形固定資産額 ⁵	1,249	1,277	(28)
期末時点の普通株式数(百万株)	2,867	3,057	(6)

- 1 資産、債務、リスク加重資産以外については、増減は改善/(悪化)を示します。総自己資本比率(%), 普通株式等Tier 1比率(%), 純資金利ざや(%), 預貸率(%), 流動性カバレッジ率(%), 英国レバレッジ率(%)については、増減は増減率ではなく、二時点間のパーセンテージ・ポイントの差で示されています。1株当たり利益、1株当たり純資産額、1株当たり純有形固定資産額については、増減は増減率ではなく、二時点間のセントの差で示されています。
- 2 普通株主に帰すべき利益/(損失)は、非累積償還優先株、および株式に分類されるその他 Tier1(AT1)資本証券の保有者に対する支払配当を控除した後の数値です。
- 3 本比率の算出にあたっては、顧客向け貸付金その他の金銭債権の総額から、リバース・レボ契約等担保貸付金、およびストレス時に返済可能と確認された、中央銀行に保有された承認済みの残高を除いており、一方で、損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される顧客向け貸付金その他の金銭債権を含んでいます。総顧客口座数はFVTPLで保有される顧客口座を含んでいます。
- 4 特別要因調整後ベースまたは法定ベースの利益を基本的加重平均株式数で割った数値です。
- 5 期末時点の純資産額、純有形固定資産額および株式数により算出した数値です。
- 6 僅少

Shareholder information

補足財務情報

顧客セグメント別の特別要因調整後の業績

	2022年度				
	法人営業・ コマーシャルバンキング 部門	コンシューマー/ プライベート/ ビジネスバンキング 部門	ベンチャー 部門	その他	合計
	(百万ドル)	(百万ドル)	(百万ドル)	(百万ドル)	(百万ドル)
営業収益	10,045	6,016	29	165	16,255
外部収益	8,899	4,989	29	2,338	16,255
セグメント間収益	1,146	1,027	-	(2,173)	-
営業費用	(5,480)	(4,148)	(336)	(779)	(10,743)
クレジットコスト・税引前営業利益/(損失)	4,565	1,868	(307)	(614)	5,512
信用減損	(425)	(262)	(16)	(135)	(838)
その他減損費用	(40)	(10)	(24)	(5)	(79)
関連会社利益	-	-	(16)	183	167
特別要因調整後の税引前利益/(損失)	4,100	1,596	(363)	(571)	4,762
再編関連コスト	(50)	(63)	(1)	(60)	(174)
営業権その他の減損費用 ¹	-	-	-	(322)	(322)
その他の項目	-	-	-	20	20
法定ベースの税引前利益/(損失)	4,050	1,533	(364)	(933)	4,286
総資産	401,567	133,956	2,451	281,948	819,922
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権	184,254	130,985	702	41,789	357,730
顧客向け貸付金その他の金銭債権	139,756	130,957	702	39,232	310,647
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金 ²	44,498	28	-	2,557	47,083
総債務	479,981	185,396	1,658	102,871	769,906
うち顧客口座 ³	332,176	180,659	1,548	5,846	520,229
リスク加重資産	143,582	50,730	1,358	49,041	244,711
特別要因調整後のRoTE(有形資本利益率)(%)	13.7	15.8	nm ⁴	(14.1)	8.0
費用収益比率(%)	54.6	68.9	nm ⁴	410.3	65.5

1 「営業権その他の減損費用」には、当行グループの関係会社China Bohai Bank(中国渤海銀行)への投資に関係する3億800万ドルの減損費用を含みます。また一貫性を保つために、2021年度の数値についても、特別要因調整後の利益に含まれる「その他減損費用」に計上していた減損費用3億ドルの区分を「営業権その他の減損費用」に変更して、修正しています。

2 「損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金」には、405億3,700万ドルのレボ契約を含みます。

3 「顧客口座」には、FVTPLで保有されるもの117億600万ドルおよびレボ契約468億4,600万ドルを含みます。

4 僅少

Shareholder information continued

補足財務情報

	2021年度(修正済み) ¹				
	法人営業・ コマーシャルバンキング 部門 (百万ドル)	コンシューマー/ プライベート/ ビジネスバンキング 部門 (百万ドル)	ベンチャー 部門 (百万ドル)	その他 (百万ドル)	合計 (百万ドル)
営業収益	8,407	5,735	1	570	14,713
外部収益	7,952	5,375	1	1,385	14,713
セグメント間収益	455	360	-	(815)	-
営業費用	(5,278)	(4,227)	(253)	(617)	(10,375)
クレジットコスト・税引前営業利益/(損失)	3,129	1,508	(252)	(47)	4,338
信用減損	44	(282)	(3)	(22)	(263)
その他減損費用	(49)	-	-	(6)	(55)
関連会社利益	-	-	(6)	182	176
特別要因調整後の税引前利益/(損失)	3,124	1,226	(261)	107	4,196
再編関連コスト	(114)	(235)	(3)	(155)	(507)
営業権その他の減損費用 ²	-	-	-	(300)	(300)
その他の項目	-	-	20	(62)	(42)
法定ベースの税引前利益/(損失)	3,010	991	(244)	(410)	3,347
総資産	405,778	139,364	1,098	281,578	827,818
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権	208,729	136,477	88	24,409	369,703
顧客向け貸付金その他の金銭債権	139,335	136,410	88	22,635	298,468
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金 ³	69,394	67	-	1,774	71,235
総債務	481,397	182,210	766	110,809	775,182
うち顧客口座 ⁴	351,696	178,088	689	11,982	542,455
リスク加重資産	163,197	51,232	761	56,043	271,233
特別要因調整後のRoTE(有形資本利益率)(%)	9.6	11.6	nm ⁵	(5.4)	6.8
費用収益比率(銀行税を除く)(%)	62.8	73.7	nm ⁵	90.7	69.8

- 1 ベンチャー部門の経営に対する戦略的重要性と報告事項の増大を受けて、同部門は2022年より独立したセグメントになりました。前の期間の数値は修正されています。
- 2 「営業権およびその他の減損費用」には、当行グループの関係会社China Bohai Bank(中国渤海銀行)への投資に関係する3億800万ドルの減損費用を含みます。また一貫性を保つために、2021年度の数値についても、特別要因調整後の利益に含まれる「その他減損費用」に計上していた減損費用3億ドルの区分を「営業権その他の減損費用」に変更して、修正しています。
- 3 「損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金」には、612億8,200万ドルのレポ契約を含みます。
- 4 「顧客口座」には、FVTPLで保有されるもの92億9,100万ドルおよびレポ契約585億9,400万ドルを含みます。
- 5 僅少

補足財務情報

地域別の特別要因調整後の業績

	2022年度				
	アジア (百万ドル)	アフリカ・ 中東 (百万ドル)	ヨーロッパ・ 米州 (百万ドル)	その他 (百万ドル)	合計 (百万ドル)
営業収益	11,213	2,606	2,353	83	16,255
営業費用	(6,867)	(1,669)	(1,564)	(643)	(10,743)
クレジットコスト・税引前営業利益/(損失)	4,346	937	789	-560	5,512
信用減損	(790)	(120)	77	(5)	(838)
その他減損費用	(47)	2	(3)	(31)	(79)
関連会社利益	179	-	-	(12)	167
特別要因調整後の税引前利益/(損失)	3,688	819	863	(608)	4,762
再編関連コスト	(75)	(29)	(23)	(47)	(174)
営業権その他の減損費用 ¹	(308)	-	-	(14)	(322)
その他の項目	20	-	-	-	20
法定ベースの税引前利益/(損失)	3,325	790	840	(669)	4,286
総資産	488,399	53,086	268,960	9,477	819,922
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権	270,892	23,857	62,981	-	357,730
顧客向け貸付金その他の金銭債権	257,171	21,570	31,906	-	310,647
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金 ²	13,721	2,287	31,075	-	47,083
総債務	441,349	40,902	219,701	67,954	769,906
うち顧客口座 ³	346,832	31,860	141,537	-	520,229
リスク加重資産	150,816	40,716	50,174	3,005	244,711
費用収益比率(%)	61.2	64.0	66.5	nm ⁴	65.5

	2021年度				
	アジア (百万ドル)	アフリカ・ 中東 (百万ドル)	ヨーロッパ・ 米州 (百万ドル)	その他 (百万ドル)	合計 (百万ドル)
営業収益	10,448	2,446	2,003	(184)	14,713
営業費用	(6,773)	(1,623)	(1,485)	(494)	(10,375)
クレジットコスト・税引前営業利益/(損失)	3,675	823	518	(678)	4,338
信用減損	(434)	34	144	(7)	(263)
その他減損費用	-	(1)	(18)	(36)	(55)
関連会社利益	175	-	-	1	176
特別要因調整後の税引前利益/(損失)	3,416	856	644	(720)	4,196
再編関連コスト	(286)	(25)	(69)	(127)	(507)
営業権その他の減損費用 ¹	(300)	-	-	-	(300)
その他の項目	-	-	-	(42)	(42)
法定ベースの税引前利益/(損失)	2,830	831	575	(889)	3,347
総資産	483,950	57,405	277,008	9,455	827,818
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権	265,744	27,600	76,359	-	369,703
顧客向け貸付金その他の金銭債権	243,861	25,177	29,430	-	298,468
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金 ²	21,883	2,423	46,929	-	71,235
総債務	434,200	41,260	233,915	65,807	775,182
うち顧客口座 ³	355,792	34,701	151,962	-	542,455
リスク加重資産	170,381	48,852	50,283	1,717	271,233
費用収益比率(%)	64.8	66.4	74.1	nm ⁴	69.8

- 「営業権その他の減損費用」には、当行グループの関係会社China Bohai Bank(中国渤海銀行)への投資に関係する3億800万ドルの減損費用を含みます。また一貫性を保つために、2021年度の数値についても、特別要因調整後の利益に含まれる「その他減損費用」に計上していた減損費用3億ドルの区分を「営業権その他の減損費用」に変更して、修正しています。
- 「損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金」には、405億3、(21年度には585億9,400万ドル)700万ドル(21年度には612億8,200万ドル)のレボ契約を含みます。
- 「顧客口座」には、FVTPLで保有されるもの117億600万ドル(21年度には92億9,100万ドル)およびレボ契約468億4,600万ドル(21年度には585億9,400万ドル)を含みます。
- 僅少